

## 令和 3 年度 徳島県入札監視委員会入札制度検討部会 審議概要

開催日時	令和 4 年 3 月 1 8 日 (金) 1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 0 0
開催場所	徳島県職員会館
出席者	委員会 竹中委員長, 永本副委員長, 滑川委員, 孝志委員, 池添委員, 鈴木委員 徳島県 木下県土整備部副部長, 村山農林水産基盤整備局長, 小津建設管理課長, 富野副課長, 山名公共入札検査課長, 富樫公共入札担当室長, 関係各課職員

## 【議 事】

入札・契約制度の改正に対する質疑等の概要は次のとおり。

## 【質疑】

- ◇「設計委託業務等受託業者の選定基準の見直し」について  
(委 員) ランク A の選定基準について, 所属する 1 級建築士数を 3 名以上に増やした根拠は。  
(徳島県) 不測事態により, 技術者が業務に従事できなくなった際に, 業務が停滞することを避けるため。
- ◇「県土整備部優良工事表彰制度の拡充」について  
(委 員) 「難工事」として指定されるのはどのようなものか。  
(徳島県) 条件不利地域での工事のこと。例えば急峻な山間部の山腹水路工事など。
- ◇「継続学習 (CPD)」に係る評価基準の緩和について  
(委 員) ウェブで講習会の開催はできないのか。  
(徳島県) ウェブの講習会では, 受講証が発行されない場合がある。
- ◇産学官連携による建設分野の DX の加速について  
(委 員) DX を推進することで業者側のメリットは。  
(徳島県) 担い手確保, 人不足への解消があげられる。

## 【意見】

- ・ DX 協議会では, 地元の事業規模の小さい事業者でも取り組めるよう, ロードマップ作成だけでなく, その先にも踏み込んで考えていただきたい。
- ・ DX が進んでいくと, 施工計画はシミュレーション表現される時代が当たり前になることが想定される。それが, 遠い未来ではなく数年後かもしれないので, ゴールを見据えて進めていくことが重要である。
- ・ マイナンバーを活用することで, 雇用形態や支払い状況は確認できると思われる。こういったところに踏み込んでいかないと, 本当の意味での処遇改善につながらないのではないか。